

胸懸け十字架の成聖祈祷

輔司誦

君や、祝讃せよ。

我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。
アミン。

常套の始め

我等の神や光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。
天の王慰むる者や、真実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者や、萬善の寶藏なる者、生命を賜うの主や、来たりて我等の中に居り、我等を諸の穢より潔くせよ、至善者や我等の靈を救い給え。
聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者や、我等を憐めよ。(三次)
光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

司誦

至聖三者や我等を憐めよ、主や我等の罪を潔くせよ、主宰や我等の愆を赦せ、聖なる者や臨みて我等の病を癒し給え、悉く爾の名に因る。
主憐めよ。(三次)

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の国は来たり、爾の旨は天に行わるるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導かず、猶我等を凶惡より救い給え。

蓋国と権能と光栄は爾父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に。
アミン。

トロパリ (第一調)

詠
主や、爾の民を救い、爾の業に福を降せ、我が国に福を與え、爾の十字架にて、爾の住處を護り給え。

光荣は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。
ハリストイアニン等の辱を得しめざる轉達、造物主の前に変らざる仲保や、罪な
る者の祈りを軽ざるなかれ、仁慈なるに由りて速に我等を助け賜え、蓋我等
切に爾に呼ぶ、生神女や、爾を尊む者に常に代り、急ぎて切に祈り給え。

主に祈らん。

主憐めよ。

祝文

我等の救の為に自由にて十字架に釘うたるを忍び、至聖なる己の血を以て甘ん
じて之を聖にし、其十字架を以て悪敵の古き記録を破り、之を以て人類を其苦難
より自由にせし主イイスス・ハリストス我等の神や、切に爾に祈る、願くは
爾の恵を以て此の十字架を顧み、爾の祝福と恩寵を降し、之に能力と保護を授
け、凡そ爾が救贖と苦難と生命を施す爾の死を記憶して、是を懸け、以て霊と体
の保護を受けさせ給え、アロンの杖を以て不信の反抗者を遠ざけ、凡ての悪魔の誘惑
に敵する能力を注ぎ、凡そ之を懸くる者をして霊体の凡ての悪より防ぎ、守り、之に

見えざる爾の賜及びハリストイアニンの諸徳を増し、爾の恩寵とならしめ給え、蓋爾は
萬事に福を降し、之を聖にする主なり、我等、光荣、感謝、伏拝を、爾と爾の無原の父
と至聖至善生命を施す爾の神とに献ず、今も何時も世世に。

アミン。

衆人に平安。

爾の神にも。

爾等の首を主に屈めよ。

主爾に。

高きに住み、卑に居る者を顧る主イイスス・ハリストス我が神や、爾の不当
の僕は心と体との首を爾に傾け、切に爾に求む、願くは爾が天の降福を此の十
字架に遣わし、聖水を注ぐ時、之に爾の能力と扶助を満たしめ、悪魔の凡ての計
を退け、之を破らせ給え、凡そ信じて之を懸くる爾の僕（婢）〔某〕に見ゆると
見えざる悉の悪より救う扶助となし、以て爾の恩寵を増加する者とならしめ
給え。

蓋ハリストス我が神や、爾は凡てを聖にする主なり、我等光荣を爾と爾の無原の

父と、至聖至善にして生命を施す爾の神しんとに献ず、今も何時も世世に。
アミン。

※（次いで司祭は、胸懸け十字架に聖水を灌いで曰く。）

司 此の十字架は、此の聖水そその灌そそがるるを以て降福・成聖せらる、父及び子及び聖神の名に依りてなり。（三次）

詠 アミン。（毎時応答する）

輔 睿智。

司 至聖なる生神女や、我等を救い給え。

詠 ヘルワイムより尊くセラフィムに並びなく栄え、貞操みさおを破らずして神言かみことばを生みし、実じつの生神女たる爾を崇あがめ讃ほむ。

司 ハリストス神我等の恃たのみや、光荣は爾に帰す、光荣は爾に帰す。

詠 光荣は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。主憐あわれめよ（三次）。
福ふくを降くだせ。

司 ハリストス我等の眞の神は、その至浄なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、亜使徒

詠 日本の大主教聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐あわれみ救わん、彼は善にして人を愛する主なればなり。
アミン。